

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第33回『「立場を超えて集う「交流」の場」

～「医療者の人材育成」～』

明日（2020年11月30日）、武蔵野大学看護学部（東京都江東区有明）の「病理学」の授業（教科書：『カラーで学べる病理学』第5版）に赴く（132名履修者）。講義内容は、『病理学の領域』、『細胞・組織とその障害』、『再生と修復』、そして、『腫瘍』を担当とのことである。筆者にとっても、『風貌を診て、心まで診る：病理学の原点回帰』の新鮮な学びである。『哲学（理念）』と『大局観』と『行動力』を持つ『医療者の人材育成の3か条』を痛感する日々でもある。

週末（2020年12月5日）は第4回『日本地域医療連携システム学会』（テーマ『コロナ禍における地域医療を考える』）で、岡山大学に於いて）である。筆者は、講演{『医療者の人材育成』～立場を超えて集う「交流」の場～}を依頼された（画像）。お2人の先生の講演内容（添付）は、極めてタイムリーで、貴重な学び時となるろう。まさに、コロナ時代、『立場を超えて集う「交流」の場』の存在意義は大きいであろう！

## 第4回日本地域医療連携システム学会

日時 令和2年12月5日 土曜日 午後2時～4時

開催形式: ZOOMによるウェブ形式 ※参加費無料

テーマ: 『コロナ禍における地域医療を考える』

### プログラム:

会長挨拶: 那須 保友 (岡山大学)

講演① 14時10分～14時45分

「地域医療と新型コロナウイルス感染症、クラスター対策の経験も踏まえて」

頼藤貴志 先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野教授  
岡山県感染症対策委員会委員、岡山県クラスター対策班メンバー

講演② 14時45分～15時20分

「with コロナの時代、何を考えるべきか？」

山本太郎 先生

長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授  
岡山県総社市新型コロナウイルス感染症専門家会議座長

講演③ 15時20分～15時55分

『医療者の人材育成』～立場を超えて集う「交流」の場～

樋野興夫 先生

順天堂大学 名誉教授  
日本地域医療連携システム学会理事長  
(新渡戸稲造記念センター長)

### 学会への参加方法:

QRコードを読み取っていただくと下記メールアドレスへの送信画面となります。  
メールに事前申し込みをお願いいたします。 [uro2@md.okayama-u.ac.jp](mailto:uro2@md.okayama-u.ac.jp)

主催: 日本地域医療連携システム学会  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学  
共催: 認定NPO法人 岡山泌尿器科研究支援機構(OURG)

事務局: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
TEL:086-235-7284 FAX:086-231-3986 [mail:uro2@md.okayama-u.ac.jp](mailto:uro2@md.okayama-u.ac.jp)

